



石破茂『政策至上主義』を読み解く



この国には、解決策が必要だ。『政策至上主義』(石破茂著、新報社、2018年)

まずは、木曜クラブ(田中派)の事務局長になりまして。当時の田中派の選対本部でもありまし

た。入ってしばらくして選挙が近くなると、先輩秘書の方々に命じられたのは、壁

ついでに、出してみないか、ではなく、「出るんだ」です。もう決まっているので

「君が衆議院に出るんだ」次の中で田中派の候補者だけを大きく赤い

「何だ銀行だ！君は代議士になるんだ。お父さんがこれまで築いてき

たものがどうなっているのか。君のお父さんは、これまで鳥取県民の

お世話になってきたじゃないか。知事を十五年やり、参議院七年、さらに

大臣も務めた。君は自分さえよければいいのさ、石破二朗の件とは言えないよ」と田中先生は

【本の要旨】最も印象深かった教えは「田中派の最大の効用は万巻の書を読まざるを得ないということである。田中派とは読書の戦いであると言ってもいい。大量の本を読まない他の田中派よりも徹底的に論破される

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター



石破茂(2007年11月8日、By Defense Department photo by Cherie A. Public domain)

法の許す範囲でお世話になった方々にお礼のあいさつをし、暇を見つけては選挙区に帰

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの爆発的なパワーを生かすこと

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

【本の要旨】カジノの集客力、集金力を使って国際会議場やコンベンションセンター

Mag2 International Intelligence Confidential advertisement with website links and contact information.

特別座談会

四世ビザはいつあるべきか？

日伯交流の将来担う人材育成の柱組みとして

四世ビザが成功して五世、六世まで訪日就労しながら日本文化を学べるようになるならば、この査証制度は日系社会の将来を左右する大事な制度ではないか...



座談会の様子

島野パトリスア (略歴) 1985年パラナ州マリンガ市生まれ。10歳の時に訪日し、日本で公立高校を卒業...

日本育ちでブラジル

「深沢」7月から開始されたばかりの四世ビザにからめて、110周年だからその日伯間の将来を見通したビザ制度をどう

永井康之 (略歴) 愛知県出身。42歳。日本の弁護士。2009年愛知県弁護士会に登録...

「島野」ええ、大変です。アさんの体験談をまず聞きたいです。学校は、習い事も全然違いますよね...

「深沢」そうなんです。私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

「島野」はい、そうですね。私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

「島野」感じませんでした。「深沢」そうなんです。私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

「深沢」私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

「島野」私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

「深沢」私も受けてもらえなかった。どうしたらいいのかわからなかった。向こうも初めての外国人と接して...

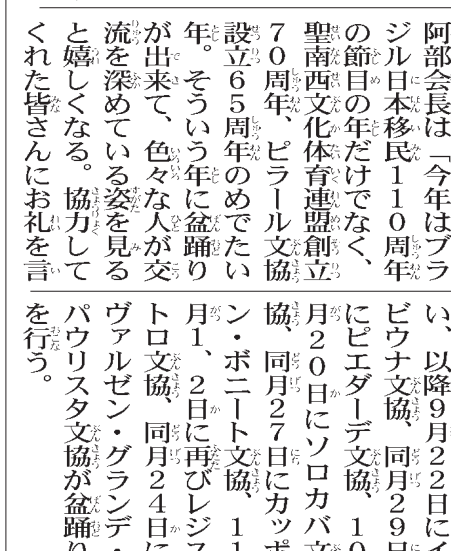
冬の風物詩 聖南西に盆踊りシーズン到来

聖ピラール・ド・ピラールの同市文化体育協会(阿部勇吉会長)は11日、同協会館にて第45回盆踊りを開催した。日系人を中心に約500人が来場し、冬の風物詩である盆踊りを催した。同文協での開催を皮切りに聖南西地区では今後、毎週のように

ピラール文協で500人楽しむ

盆踊りが開催される。午後6時、日も暮れ、文協敷地入り口から会館まで続く提灯が点り始める。浴衣姿の子供たちが両親の手を引かれ、会館に集まり始めた。外は寒い。会館内は同協会名物の焼きそばを作る際の熱気と人いさいで暖かい。会館内には矢倉が

盆踊り会場の様子



(30)

もし小之原に抵抗したらこの部屋の何人が彼に味方するだろうか。一人でも奴に味方すれば、私は徹底的にやられることは明らかである。ならばガンジーのように無抵抗を通そう。そう思い定めて、どんなにされても、一切口をきかないぞと腹を決めた。

「それは良くない」止めに入った中尉は反対し、私に向いて「帰って休めよ」と二度うなずいた。私は彼に目礼し、ふらつく足を踏みしめて外に出た。晴れ渡った夜空に満月が明るく輝いていた。隣りの病舎に向って歩きながら、後ろに人の気配を感じて振り向いた。

「お休み」と言い、他の三人を促して宿舎へ向った。四人を見送って振り向くと、病舎の丸太壁が目前にあった。

あの中尉が取った行動と、彼に従った中尉二人と見習士官一人計四人は、部下たちに同情していることが読みとれた。あの時、将校宿舎から出てこなかったのは、小之原と私らの教官であった野間見習士官の二人であった。何が小之原を豹変させたか知らないが、小之原に同調した野間は、奴の直接の部下だから仕方ないと彼の立場を理解することはできた。いずれにせよ、小之原が兵に対して取り続けた行為は論外であった。

Shiatsu 指圧・整体・鍼灸で 腰痛ヒザの痛み、首の痛み、咳・くしゃみによる尿もれ、頻尿の人 Prof. Minoru Kohakura

プロボリス専門店 ムラサン健康食品 MURASAN PRODUTOS NATURAIS

a kenko hirose 健康食品 プロボリス・アガリクス専門店

CONSULTAS E TRATAMENTOS ESPIRITUAIS PASSOS ENERGÉTICOS, DEFUMAÇÕES PARA LIBERTAÇÃO, REIKI E FENG SHUI.

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA Admite-se estagiário(a) 研修生募集中 (男女) 和泉整体 法で SADAKAZU NAKATA PhD

NEOVISIE Oftalmologia 中野眼科 ブラジル眼科学会 認定の眼科専門医

Matsubara Hotel coloca o melhor de São Paulo à sua volta

橋本梧郎氏の遺稿を出版

「湖水に眠るセツテ・ケーダス」

サンパウロ博物館研究会

サンパウロ博物館研究会(博研)吉岡パトリシア会長が11日午後から、創設者の故橋本梧郎氏の遺稿「湖水に眠るセツテ・ケーダスの植物」第1巻(邦語)の出版記念会を聖市イタケラ区の同会館で行った。出版会には会員約30人が集まり、協力者には本が贈呈され、日本からは橋本氏の友人・松田パウロさんも来伯し、故人との思い出を語った。



協力者1人1人に本を手渡す吉岡会長

1982年10月、イダスの滝。その周辺の自然をテーマにした「セツテ・ケー」橋本は、橋本氏によって1954年から約20年かけて集められていた。今では採取のしようがない貴重な植物類から作られた図録をまとめたのがこの本だ。

出版会で挨拶に立った吉岡会長は「どうとう先生の遺稿を出版することができて嬉しい」と喜びを語り、先月来伯された眞子内親王殿下に「今上天皇后両陛下にお願います」と渡したことを話した。

その後、日本から駆けつけた松田パウロさんが橋本氏との思い出を語った。2人で日光東照宮などを訪問した際、宿泊先で「10年前の会長時代に遺稿を出版するプロジェクト・イチヨウ」を立ち上げた越村健治さんと話した。



橋本氏には丁寧な標本された植物が収められている

「(83、二世)。10年越しに計画が達成されたことに「本当に喜ばしい。関係者の皆さんにお礼申し上げます」と祝辞を述べた。

同研究会の会計を務める川上久子さん(77、東京都)は遺稿について「研究当時に絶滅状態のものもあった。セツテ・ケーダスにしか自生していなかった植物もあるのではないかと考えられている。現在は確認することができない植物が収められた、とても貴重な本」と話した。

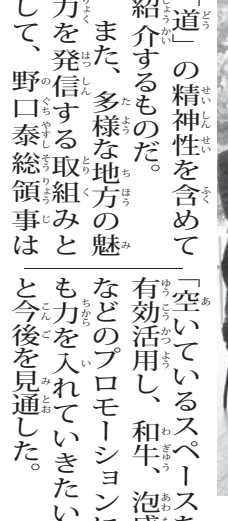
同研究会の標本室にある127台の戸棚に約15万点の標本が収められている。最近入会したヨシムラ・シンボク(68、二世)は「本工が専門の元大学教授。友人に誘われて訪れた同会館の膨大な標本に驚き、一般の人々にも見せたい」と標本のデータベース化の計画を吉岡会長に進めている。「貴重な標本の量に感動し、研究会

H 来館者数100万人突破へ!

J 坂本淳レストランは閉店

ジャパン・ハウス(JH)カルロス・アウグスト・ホサ館長代行)は「第10回運営委員会」を今月6日に開催した。昨年5月に開館した同館は、16カ月目となる今月末迄に、来館者数が親王殿下をはじめ県知事ら要人がこぞつて来場するなど注目を集めたことが来館者数を押し上げた

と見られる。また、先月末迄に同館の坂本淳シェフ監修のレストランが閉店となった。これについてホサ館長代行は「展示物と同様に、様々な日本のコンテンツを見せるのがJHの上階で開館される。これは20年東京五輪を視野に、柔道、剣道、合気道などの日本のスポーツを、その背景にある



運営委員会を終えた関係者ら

「道」の精神性を含めて紹介するもの。また、多様な地方の魅力を発信する取り組みとして、野口泰総領事は「空いているスペースを有効活用し、和牛、泡盛などのプロモーションにも力を入れていきたい」と今後を見通した。

大目小目

家族の誘いで故橋本梧郎氏の出版会に参加したエリカさん(72、二世)は「こんな資料があると知らなかった」と遺稿について話し「これほど多くの人に知らせるべき。橋本さんの偉業を知らせるために、外部の一般人も見られるようにしたい」と語った。現在会員は70人程度、ほとんどが60〜80歳以上の高齢者だそう。

ヨシムラさんは「博研から車で5分程度の場所にサンパウロ連邦大学があることを挙げ、大学生などが若者を取り込み、活動の活性化や広報に繋がらないかと考えている」と語った。遺稿は300部発行、全文を邦語、学名付き、一冊1000。問い合わせは博研(11-2522・8299)まで。

同日に野球指導員が派遣されたのは昨年からの参加者など、交流を温めてきた。日本からの生徒が4人も参加するのは今回が初めて。

「もっとブラジルにも算盤が普及してほしい。この度、日本からの生徒が参加することで、互いに競って刺激し合うなかでレベルの向上に繋がれば」と語り、「まだブラジルには10段を持つ生徒はいないと聞いている。第一号が出版してほしい」と期待を寄せた。

参加者の一人、宝塚市内小学校で教師を務める今井理沙さん(25)は「ブラジルの大会参加は今回で2回目。10年前にきた時は、ブラジルでも算盤をやっていると知って驚いた。日本以外の場所でも、このように算盤を通じて交流が持てるのは嬉しいこと」と喜びを見せた。

そのほか、小林樹里さん(13)、假屋空翔さん(13)、高橋宏明さん(12)が参加する。

福岡大学等が野球道具寄贈

JICA伊取さんを通じて

パラ州トメアス郡アストロ・ボッカスのトメアス文化農業振興協会(ACITA)・柴田一宇(シルビオ会長)の野球チーム指導員として、JICAポランテアで伊取成貴さん(22、福岡県)が派遣されている。伊取さんは7月29日、同チームに母校・福岡大学野球部などから寄付された野球ボール200球やグローブ、キャッチャー用具などを寄贈した。

同チームメンバーは子供からベテランを含む80人。内30人が女子ソフトボールの選手となる。12歳までは男女混合のチームがつけられている。1960年に創設された。1960年に創設された。1960年に創設された。



寄贈品について説明する伊取さん

平成学院そるぼん大会、19日に

110周年記念、日本から参加者も

平成学院そるぼんアカデミー(浜崎クラウジアみゆき校長)は「第10回ラジルそるぼんクラブ(Lima, 72)で開催する。日本移民110周年を記念し、同アカデミーが初開催するもの。大会にはサンパウロモジダスクルーゼス、スザンマリリアからの学習者ほか、浜崎校長と親交のある兵庫県宝塚市の今井珠算塾(今井智子塾長

ブラジル香川県人会

地方在住県人の皆様
移民体験を聞かせてください!

県人移民の個人史を集めた記念誌『香川県人移民の足跡』(仮題)を制作するため、県人から移民体験の聞き取り活動を行っています。記念誌は日ポ両語で刊行され、後世へ生きた証が伝わります。未聞の県人、特に地方在住者はぜひ県人会へ連絡ください。

ブラジル香川県人会
※聞き取り活動は10月31日で終了する予定です。

Rua Itaipú, 422 - Mirandópolis - São Paulo/SP
Tel.: (11) 5587-5303

探しています

加藤 敦子さん

- ◎昭和29年9月27日生まれ
- ◎静岡市立高松中学校卒業
- ◎静岡星美高等学校卒業

この方をご存知の方は、ニッケイ新聞編集部までご連絡下さい。

TEL: (11) 3340-6060
E-mail: anuncio@nikkeyshimbun.jp

死亡通知書 四十九日法要のお知らせ

故 田中三千子 (八十七歳) 儀

去る七月二十日、病気のためサンタクルス病院にて永眠致しました。翌二十一日、サンカエターノ・ド・スル市内の霊安場にて通夜を執り行い、サントス市内の火葬場にて荼毘に付しました。

生前ご厚誼を賜りました皆様方に、謹んでお知らせ致します。御多忙中にも拘わらず遠路御参下さり、その上過分なる御香典、御供花を賜りましたこと、誠に失礼とは存じますが、紙上を以て厚く御礼申し上げます。

二〇一八年八月十八日

喪主 夫 田中 敬吾
長女 田中 みさき
長男 田中 基
妻 田中 基
クレウザ

このほど遺灰が届きましたので、納骨を兼ねて四十九日法要を左記の通り執り行いたいと思っております。

【日時】 九月一日(土) 午後三時
【場所】 浄土宗伯国別院 日伯寺
Av. Paula Ferreira, 1133 - Piqueiri
- São Paulo - SP
TEL: (11) 3976-5771

コロニア・アリアンサの歴史を知る 決定版 日語でもポ語でも読める

木村快著 共生の大地アリアンサ

日語版 R\$ 90,00 → R\$ 50,00
ポ語版 R\$ 90,00 → R\$ 40,00

特別価格 日+ポ語版 R\$ 80

■ご注文お問い合わせ ■ニッケイ新聞社 (11-3340-6060) ■フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) ■太陽堂 (11-3208-6588) ■高野書店 (11-3209-3313)
郵便でのご注文の方は ■太陽堂 ■フォノマギ ■高野書店まで ■詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 (マリアまで) ※ 両語版特別価格は本紙編集部での購入に限ります

Família Imperial (14/08/2018)

Casal imperial do Japão vai visitar áreas devastadas por chuvas torrenciais no oeste do país

O imperador Akihito e a imperatriz Michiko do Japão devem visitar áreas devastadas por chuvas torrenciais no oeste do país em meados de setembro. Ajustes estão sendo feitos para que o casal imperial re-

alize uma viagem de um dia às províncias de Hiroshima e Okayama por volta do dia 13 de setembro. Akihito e Michiko vão sobrevoar a região de helicóptero, se encontrar com moradores afetados e se inteirar

da situação junto ao governador e a outras autoridades. Espera-se que o casal imperial realize outra viagem de um dia à província de Ehime por volta de 20 de setembro. Mais de 200 pessoas morreram e muitas continuam de-

saparecidas ou vivendo em abrigos após chuvas recordes nessas regiões em julho. A última vez que Akihito e Michiko fizeram diversas visitas a uma área devastada foi após o terremoto seguido de tsunami e acidente nuclear de 11 de março de 2011.

Fim da guerra (15/08/2018)

Japão observa 73 anos do fim da Segunda Guerra Mundial

Quarta-feira marcou os 73 anos do fim da Segunda Guerra Mundial no Japão. Milhares de pessoas foram ao ginásio Nippon Budokan em Tóquio honrar os mortos de guerra na cerimônia realizada anualmente no dia 15 de agosto. Foi a última participação do imperador Akihito e sua esposa Michiko, já que o imperador japonês irá abdicar em abril de 2019.

Cerca de 6.500 pessoas foram prestar homenagem aos mais de 3 milhões que morreram na guerra e exatamente ao meio-dia, foi feito um minuto de silêncio. Palavras do imperador Akihito: "Ao pensar nos muitos anos e meses de paz após a guerra, reflito sobre o nosso passado e tenho em mente sentimentos de profundo remorso. Espero sinceramente que os horro-

res da guerra nunca se repitam. Junto com todo o nosso povo, eu agora pago de coração um tributo a todos os que perderam a vida na guerra, tanto em campos de batalha como em outros lugares, e rezo pela paz mundial e pelo contínuo desenvolvimento do nosso país". O imperador trabalhou para amenizar cicatrizes de guerra dentro e fora do Japão. Todos os anos desde sua

ascensão em 1989, ele faz um pronunciamento neste memorial. Também o premiê japonês Shinzo Abe prometeu lidar de forma autêntica com as causas do conflito e trabalhar na criação de um mundo no qual todos possam viver em paz. Palavras do premiê: "Nunca mais iremos repetir a devastação da guerra. Iremos encarar a história com humildade. E seja qual o rumo que o mundo tome, iremos manter firmemente esta promessa".

Fim da guerra (15/08/2018)

Premiê japonês envia oferenda ao santuário Yasukuni

Na quarta-feira, o premiê japonês, Shinzo Abe, fez uma oferenda ao santuário Yasukuni por meio de um assessor. O dia 15 de agosto marca o fim da Segunda

Guerra Mundial no Japão. O parlamentar do Partido Liberal Democrático Masahiko Shibayama, que visitou o santuário em Tóquio, disse a repórteres que foi instruído pelo primeiro-ministro a fa-

zer a visita, da mesma forma que no ano passado. Shibayama afirmou que Abe, o qual lamentou não poder fazer a visita pessoalmente, pediu que ele orasse pelas almas daqueles que fizeram nobres sacrifícios em guerras passadas.

O santuário Yasukuni homenageia os mortos do Japão em conflitos. Entre os homenageados no local estão indivíduos condenados por crimes de guerra após a Segunda Guerra Mundial. Abe não visitou o santuário pessoalmente, mas desde 2013 envia oferendas utilizando recursos próprios no dia 15 de agosto todos os anos.

Base militar (16/08/2018)

Mau tempo adia aterramento necessário para transferência de base em Okinawa

O governo do Japão informa que, em razão de mau tempo, foi adiado o aterramento a ser realizado no canteiro de obras de uma nova base militar em águas ao largo de Okinawa. Tóquio havia notificado o governo da província que planejava iniciar já na sexta-feira a colocação de terra e areia no interior de uma área com barreiras para águas do mar ao largo de Henoko, na cidade de Nago. O objetivo do aterramento

é a transferência, para área menos populosa, da base aérea de Futenma, do Corpo de Fuzileiros Navais americano, hoje situada na cidade de Ginowan, na mesma ilha principal de Okinawa. Nesta quinta-feira, o Ministério da Defesa do Japão anunciou a decisão de adiamento das obras por causa de um tufão. Para algumas fontes do governo e dos partidos de situação, não importará qualquer adiamento das obras

até depois da eleição do mês que vem para governador da província. O pleito será realizado por causa da morte do titular do cargo, Takeshi Onaga, que se opunha fortemente ao plano de transferência. Segundo observadores, o governo nacional também pretende ver de que modo autoridades provinciais vão levar adiante o plano de revogar a autorização do aterramento para impedir a transferência da base.

Guerra comercial (16/08/2018)

China e EUA vão retomar negociações para amenizar tensões comerciais

A China afirmou que vai retomar negociações comerciais com os Estados Unidos visando encontrar meios de amenizar a disputa entre os dois países. Na quinta-feira, o Ministério do Comércio da China informou que o vice-ministro Wang Shouwen visitará os Estados Unidos neste mês para se reunir com o subsecretário do Tesouro Davis Malpass. Estas serão as primeiras ne-

gociações comerciais desde que o secretário de Comércio dos Estados Unidos, Wilbur Ross, e o vice-premiê da China, Liu He, se encontraram, em Pequim, no mês de junho. Conversações bilaterais em caráter oficial estão suspensas por causa da recente imposição olho por olho de tarifas sobre importações no valor de 34 bilhões de dólares para cada país. A partir de 23 de agosto,

ambos os países devem impor tarifas adicionais sobre importações no valor de 16 bilhões de dólares para cada lado. Washington também se prepara para impor tarifas sobre produtos chineses no valor de 200 bilhões de dólares. As atenções estão voltadas para a possibilidade de que as planejadas negociações vão ajudar as duas potências econômicas a encontrar um denominador comum visando minimizar a escalada das tensões comerciais.

NHK WORLD JAPAN

Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD-JAPAN.
nhk.jp/portuguese

Olimpíada (16/08/2018)

Província de Saitama busca voluntários para Jogos de Tóquio-2020

Na quinta-feira, uma província japonesa que irá sediar competições de quatro esportes na Olimpíada e Paralimpíada de Tóquio 2020 começou a recrutar voluntários para o evento. A província de Saitama, localizada ao norte da capital, irá sediar competições de futebol, basquete, golfe e tiro esportivo nos Jogos de 2020. O governo local está buscando voluntários para receber os espectadores em estações de trem e outros lo-

cais, dando direções. Autoridades de Saitama afirmam estar recrutando 5.400 pessoas. Quatro mil dos voluntários não precisam ter nenhuma qualificação ou experiência anterior. Outros 1.100 precisam ser capazes de responder a perguntas em línguas estrangeiras e 300 voluntários devem trabalhar como líderes. Interessados devem inscrever online ou por correio até 30 de setembro.

TPP (15/08/2018)

Japão espera que Peru conclua procedimentos internos para início da TPP

O ministro dos Negócios Estrangeiros do Japão disse ter esperanças de que o Peru consiga concluir procedimentos internos para ajudar com o início da Parceria Transpacífica o quanto antes. Segundo os termos do pacto de livre comércio conhecido como TPP, a parceria entra em vigor 60 dias após seis dos onze países signatários completarem procedimentos domésticos. Segundo a chancelaria japonesa, o Japão e outros dois países já concluíram o processo. Na terça-feira, o chanceler Taro Kono se encontrou em Lima com o ministro das Relações Exteriores do Peru, Néstor Popolizio. Kono está

em viagem visitando países das Américas Central e do Sul. Popolizio disse que o Peru e o Japão compartilham dos valores do livre comércio e da cooperação multilateral. O ministro peruano disse que gostaria de aprofundar as relações e ter laços bilaterais mais construtivos. Por sua vez, Kono lembrou que ambos os países são signatários da TPP, além de importantes parceiros na promoção do livre comércio. O chanceler japonês espera que Peru e Japão continuem a trabalhar juntos para que a TPP entre em vigor o mais rápido possível.



Chegou o mais novo volume
Cultura Japonesa 8
Entendendo o Japão
UMA ANÁLISE DOS ACONTECIMENTOS ATUAIS, DA HISTÓRIA E DA CULTURA

OS PIONEIROS DA IMIGRAÇÃO JAPONESA
Que sentimentos apossaram a alma dos primeiros imigrantes japoneses ao chegar ao Brasil, cortando de vez seus vínculos com a terra natal? E de se imaginar que haja por trás disso, histórias. Não apenas da dura vida de privações que levavam, mas também, de amores e de aventuras. Decorridos 110 anos desde o início da imigração japonesa no Brasil, o momento é propício para recordar como eram esses imigrantes pioneiros. Gente como eles, cheios de vitalidade, que se projetaram do Japão mundo afora, compõem a ebulliente sociedade inicial dos imigrantes no Brasil. E dela surgiu a sociedade nikkei desta terra.

Todos os textos em japonês e português
*OS TEXTOS EM JAPONÊS VÊM COM FURIGANA PARA FACILITAR A LETURA. IDEAL PARA O ESTUDANTE DE LÍNGUA JAPONESA

NOBORU SESHIMO, CONDE KOMA, RYOTA OYAMA, TORAZO OKAMOTO, TAKEO ATOMIYA E KUMAKI NAKAO
PIONEIROS DA HISTÓRIA DA IMIGRAÇÃO SUAS VIDAS DETALHADAS AQUI!

Leia, conheça, coleccione, presenteie!
Livrarias: Jornal Nikkei Shimbun e Livraria Japonesa de São Paulo

INFORMAÇÕES E VENDAS
Jornal Nikkei Shimbun (11-3340-6060), Livraria Fonomag (11-3104-3399), Livraria Sol (11-3208-6588), Livraria Takano (11-3209-3313)
Para adquirir o livro através dos Correios, entrar em contato com as Livrarias.

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD JAPAN
Serviço em português a qualquer hora em qualquer lugar!

NHK WORLD RADIO JAPAN
*Para iOS e Android

Transmissão ao vivo em português e outros 16 idiomas

Clipes de áudio de últimos noticiários e programas

Molhos Marutti. para cada receita, um molho especial. MARUITTI www.marutti.com.br

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI

国内 引越は日通 海外 通 11-3583-3882

ANO XXI - Nº 5064 SÃO PAULO, SÁBADO, 18 DE AGOSTO DE 2018 R\$ 4,00

障害者雇用42年間水増し

中央省庁、実態は半数 対象外算入、国交や総務

【共同】国土交通省や総務省などの中央省庁が義務付けられた障害者の雇用割合を42年間にわたり水増しし、定められた目標を大幅に下回っていたとして、政府が調査を始めたことが16日、分かった。複数の政府関係者が明らかにした。障害者手帳を持たない対象外の職員を算入する手法が使われ、国の雇用実態は公表している人数の半数を下回る可能性がある。1976年に身体障害者の雇用が義務化された当初から恒常的に行われていた。結果がまとまれば公表する方向だ。

政府は各省庁の水増しを長年放置。省庁と同様に雇用を義務付けられた企業が目標を達成できなかったら、代わりに納付金などを徴収しており、批判は必至だ。1億総活躍社会の実現を掲げる中、障害者雇用の在り方が改めて問われてきた。問題が発覚したのは障害者雇用促進法に基づく「障害者雇用率制度」で、企業や公的機関に一定割合以上の障害者を雇うよう義務付けている。原則として身体障害者手帳や

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

日韓合意、解決にならず 国連委、慰安婦問題討議

【ジュネーブ共同】国連人権差別撤廃委員会は16日、約4年ぶりとされる対日審査会をジュネーブで開いた。日韓両国の懸案である旧日本軍の従軍慰安婦問題が

これに対し、最終日の17日の会合で大鷹正人政府代表が答弁。十分な謝罪と補償がなされていないとの指摘に対し、日本は「おわびと反省を表明するため、償いを取り組んできた」と反論。国際社会でも評価された日韓合意を着実に履行し、「問題を次の世代に引き継がないことが重要だ」と述べた。

暗闇に舞う 千の灯笼

【共同】熊本県山鹿市で16日夜、和紙で作った金色の灯笼を頭に付けて、約千人の女性が輪になって優雅に舞う「千人灯笼踊り」があった。夜灯の音に合わせ、金色に輝く音に合わせた。光る大きな輪が揺らめいた。15日からの「山鹿灯笼まつり」のハイライト。

9条改憲 「緊急性低い」 石破氏、首相と対決鮮明

【共同】9月の自民党総裁選に立候補する石破茂元幹事長は17日、憲法をテーマに国会内で記者会見し、9条改憲は緊急性が低いとの認識を表明した。「9条は国民の理解を得て世に問うべきものだ。その努力がまだ足りない。理解なき改正をスケジュールありきで行うべきではない」と述べた。秋の臨時国会に党改憲案を出すよう促した安倍晋三首相との対決色が鮮明に格好だ。総裁選では9条改憲の在り方が争点となる。

【共同】参院選の「合区」解消と緊急事態条項の新設を改め挙げた。隣接県同士を一つの選挙区とするのは「このまま推移すれば増える」として、2021年を目途に改憲に取り組むべきだと主張。緊急事態条項に「国民の生命や財産を守るため、災害大国日本でも必要だ」と力説した。9条については「戦争の惨禍を経験した人がいる。また改憲の12年改憲草案に盛り込まれた「国は国政上の行為につき国民に説明する責を負う」と

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

【共同】米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡る問題は、国による埋め立て予定地の土砂投入が可能となる17日を迎えた。移設に反対する県民らが予定地近くで抗議活動を展開し、「子や孫のためにも負の遺産はつくられない」と訴えた。海上ではカヌー約50隻や小型船舶数隻が周辺海域に集結し、海上保安庁の船が監視する中、「美ら海を守れ」と「工事を直ちにやめろ」というレトリックを掲げた。

FÉRIAS ANIMADAS 2018 "Pacote de 13 dias" 02 de julho Roteiro: Osaka, Kyoto e Tokyo ALFAINTER TURISMO

TUNIBRA TRAVEL 社員大募集!! 年齢不問 給料・待遇 面接にて決定します。TEL (11) 3346-8200

大統領選 検察庁が選挙裁に圧力

ルーラの出馬無効の判断で 先延ばし狙うPTをけん制

服役中のルーラ元大統領(労働者党・PT)の大統領選出馬登録が15日に行われたのを受け、連邦検察庁が高等選挙裁判所(TSE)に対し、同氏の出馬登録に関する審理を早く行うよう圧力をかけている。17日付伯字紙が報じている。

担当はバロージョ判事のまま

ラケル・ドッジ検察庁長官がルーラの登録と同時、TSEに登録無効の請求を行ったのはPT側の戦略をけん制する意味がある。PTは高等裁判所(S TJ)と最高裁(STF)をすくなく却下せず、全



ラケル・ドッジ検察庁長官 (Marcelo Camargo/Agência Brasil)

PTの弁護士団は、審理終了までの待ち時間が8月31日を越えることを望んでいる。そこまでは望んでいない。その日からは、PTは最高裁(S TJ)をすくなく却下せず、全

15日午後2時頃、リオ州西部パルナ・ダ・チジュウカで、13歳の息子の前で母親が殺されたという事件が起きた。15、16日付伯字紙によると、殺されたのはパルナ・ダ・チジュウカ(4)の息子ジュニオル容疑者(47)と共に見物客のコンドミニアムに住んでいた。警察によると、同氏は別の夫と別れた女性と、カリナ氏と現在の恋人の仲が良い事に嫉妬していたという。

「父が母を殺させた!」 13歳男児が驚愕の証言

連邦 以前の約束守られずと主張

市、パカエンブーの入札差止め 引き続きTCMとの因縁

東西南北

ラゲル杯準決勝の第2試合で、バルメイラスはパカエンブーに1-0で勝利。初戦は0-0の引き分けだったため、これで準決勝進出を決めた。準決勝の相手はクルゼイロで、試合は9月12、13日の両日に行われる。展開次第では、決勝で宿敵コリンチアンスと対戦の可能性もある。

雇用情勢 就職断念者が480万人超

【既報関連】地理統計院(TBGE)は16日に、今年の第2四半期(Q)の全国家庭サンプリ調査(Pnad)の結果を発表した。それによると、職に就く望みも能力もありながら、就職を諦めた人(就職断念者)の数が483万3300人に達したと17日付伯字紙が報じている。

失業者の増加は、統計上の求職者を減らすこととなり、見かけ上の失業率低下に繋がる。実際、今年第1Qから第2Qにかけての失業率は、13.1%から12.4%に下がった。

「父が母を殺させた!」 13歳男児が驚愕の証言

就職断念者が480万人超

就職断念者が480万人超

サンパウロ日伯看護協会 日伯友好病院 ENKYO HOSPITAL NIPÓ-BRASILEIRO

南米神宮 開運 沼矛八方被

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL 週末バス旅行・日本語添乗員同行

ニッケイ新聞 (11) 3340-6060

こくさいは にほんじん ようせいの こうざ
国際派日本人養成講座
 伊勢雅臣

忘れさせられた事

(江藤淳氏追悼号)

1. いったいこれが 言論の自由でしようか?

アメリカ・ワシントンDC近郊にある国立公文書館には、マッカーサー司令部の残した記録文書が、無数のダンボール箱に保管されている。文芸評論家の江藤淳氏は、その中から占領中に日本人の書いた大量の手紙の英訳を発見した。氏はそのいくつかを紹介している(「1, p244」)。

3. アメリカにおける 戦時検閲

開戦直後の昭和16(1941)年12月19日、戦時立法として、言論出版集會社等臨時取締法が公布された。言論の自由を抑圧したとして悪名高い法律である。奇しくも同じ日に、アメリカではルーズベルト大統領が、合衆国検閲局の設置を定めた大統領令8985号に署名していた。

5. 検閲の中の民主主義

検閲の対象となつたのは、軍国主義を鼓舞するよう「民主主義に対する障礙」ばかりではなかつた。民間検閲支局の検閲指針として、30項目の「削除または掲載禁止の対象となるもの」が挙げられていた。その中で、占領軍行政、連合国に対する批判はすべて封じられた。連合国の戦前政策を批判したり、占領軍兵士の婦女暴行や強盗犯罪などの報道も禁じられた。

6. 検閲された詩

文学作品中にも、占領軍から軍国主義的として修正命令、または発禁処分を受けたものがあつた。江藤氏の著書に、その一例として次の詩が紹介されている(ただし、以下の検閲の直後に、検閲制度の変更が行われ、この詩は原形のまま出版できた。修正後の形を示す。「3, p297」)

かへる
 川路彬紅

汽車はいつものやうに／小さな村の駅に人を吐き出し、
 そつげなく煙と煙をのこして／山の向ふへ走り去つた。
 降り立つた五六人のひとびとは／白い布でどんだ本の箱を光頭、
 ミんを低く頭を垂れて／無言で野道へと歩き出す。

(a)
 青い田と田のあひだに／大空をうすす小川
 永遠の足跡のやうに／水の面に消えまた現れる
 緩い雲

(b)
 この自然のふところは／すべてが、あまりに／やうて
 軟びと悲しみも、さては昨日も今日も、
 時の羽持さすら聴えぬ向に生きてゐる。

おまへを生み育てた村の家に、
 眠ひのない、この自然と人の静けさの中に。

8. 断ち切られた過去とのきずな

「一人の人間をまたたく別の人間に作り変えるための最も徹底した方法は、その人の「過去とのきずな」を抹殺する事である。幼き日の思い出、学生時代の友情や初恋、仕事上の成功と失敗、我々が現在の自分自身でありうるのは、そのような記憶があるからだ。記憶が抹殺されれば、過去の自分は見知らぬ他人となり、今までの自分の人生は意味のないものとなる。同様に、ひとつの民族を別なものに作り変えるためには、民族の記憶、すなわち歴史を抹殺し、「君たちは新しく生まれ変わったのだ」と吹き込めばよい。先人の思いを伝えるものをすべて抹殺し、死者とのきずなを断ち切る。占領軍が検閲によって行ったのは、まさにこの事であった。

2. 月4百万通の私信チエック

これらの私信は、占領軍司令部に属する民間検閲支隊(CCD)により、無断で開封され、英訳されてチエックを受けたものである。この組織は将校88名以下、日本人5,076名を含む総員6,168名(昭和22年3月時点)という大所帯であった。

4. 隠蔽された検閲

日本が降伏条件として受諾したポツダム宣言の第10項には、次のような二節があつた。

日本国政府は日本国民の間でケル民主主義的傾向を復活強化し、一切の障礙を除去すべし。言論、宗教、思想、自由並びに基本的個人権を尊重し、確立せらるべし。

7. 「霊」の抹殺

実は、この詩のタイトルは「かへる霊」であり、また(a)と(b)の部分には、それぞれ次のような部分削除されている。

(a)
 かつての日の光は、／かつての日の尊厳すべき英雄は、
 いま骨となつて故里へ還つたが、

(b)
 祝福する人もなく、罪人のやうに
 わずかな家族に護られて野地をゆく
 (b)
 赤きの人々に護られた英霊は、
 燃える太陽の光のなかで、
 白い城のやうな匂となつて／眩しくかざり動く
 かへるその霊の宿はどこか、
 眠られる誰とは何か?
 安らかに眠れよ、たゞ安らかに

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張つたり、普段は邦字紙を読んでいる兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。
 (ニッケイ新聞編集部)

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ!
日本人として知っておきたい 皇室の祈り
 1冊100レアル 30冊限定販売!
 世界最古の国 日本が誇る皇室の歴史と文化、その実像
 万民の幸せを願う 皇室の祈りこそ 日本人の国民性の源
 平成から新時代へ
 いま、天皇陛下の御位をめぐり、日本の皇室が注目されています。初代・神武天皇から125代。そして126代へと引き継がれてきた伝統の源とは、いったい何なのでしょう?
 【お問い合わせ】ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060
 【郵送でのご注文は日系書店まで】
 太陽堂: (11)3208-6588 / フォノマギ竹内書店: (11)3104-3399 / 高野書店: (11)3209-3313

本紙土曜日掲載『国際派日本人養成講座』
 著者・伊勢雅臣さん厳選24編
 「世界が称賛する国際派日本人」
 「無敵の日本人」
 「4万7千人が愛する大分県」
 「4万5千人が愛する大分県」
 「感動の人物編」
 2巻セットで R\$ 180 (日本語)
 特別価格にて販売!
 喜びはありません! 【著者あとがきより】
 【問い合わせ】 TEL: (11) 3340-6060 編集部
 地方発送は日系書店へご注文下さい。

国際派日本人養成講座
 発行人=伊勢雅臣(文責)
 Mail: ise.masaomi@gmail.com
 Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

ニッケイ新聞大人気シリーズ! 最新刊販売中!!
日本文化
 CULTURA JAPONESA
 異彩放つ 先駆者たちの軌跡
 瀬下 登 北米で活躍した開拓者
 前田光世 伝説の武道家
 尾山良太 シュート産業の立役者
 岡本寅蔵 紅茶栽培に情熱をかけた男
 後宮武雄 財閥出身の慶應ボーイ
 中尾熊善 慈善事業に献身した日系社会のリーダー
子供たちの日本を見る目が変わる!!
 お問い合わせ・販売 詳しくはニッケイ新聞編集部まで・各(11-3340-6060)。日系書店でも販売中! 地方発送も出来ます!
 太陽堂 (11-3208-6588) ■ フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) ■ 高野書店 (11-3209-3313)